

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
地理総合	1	2	新地理総合（帝国書院）	新詳高等地図（帝国書院） 新地理総合ノート（帝国書院）

評価の観点	到達目標および評価の内容
a 知識・技能	現代世界の地域構成を示した地図を基に、国内や国家間の結びつきなどを理解している。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性を理解している。世界各地で見られる地球的環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、解決には持続可能な社会の実現を目指す国際協力が必要なことを理解している。
b 思考・判断・表現	現代社会の地域構成について、主題を設定し、国内や国家間の結びつきなどを多角的・多面的に考察し表現している。世界の人々の特色ある生活文化について、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し表現している。世界各地で見られる地球的課題について、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し表現している。
c 主体的に学習に取り組む態度	現代世界の国家間や様々な地域間の結びつきについての課題意識を主体的に持ち、それらの課題解決のために多面的・多角的な考察を意欲的に行いながら追求しようとしている。地球的諸課題の解決を目指す様々な取り組みへの興味関心を持つとともに、自分の事として落とし込みながら意欲的に解決のあり方を考察・構想しようとしている。
評価の方法	
各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価とする。	

年間指導計画											
前期						後期					
月	予定 時数	学習内容	評価の観点			月	予定 時数	学習内容	評価の観点		
			a	b	c				a	b	c
4	6	第1部 地図でとらえる現代社会 ・地図と地理情報システム ・結びつきを深める現代社会 ・グローバル化する世界	○	○	○	10					
6	17	第2部 国際理解と国際協力 ・生活文化の多様性と国際理解 ・世界の地形と人々の生活 ・世界の気候と人々の生活 ・世界の言語・宗教と人々の生活	○	○	○	11	16	第3章 持続可能な地域づくりと 私たち ・自然環境と防災 ・自然災害への備え ・生活圏の調査と地域の展望 ・生活圏の調査	○	○	○
8	16	・歴史的背景と人々の生活 ・地域的課題と国際協力 ・複雑に絡み合う地球的課題 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口問題 ・食糧問題 ・都市・居住問題	○	○	○	1	15		○		○
			○	○	○	3			○		○
計 70											

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項

- ・授業開始のチャイムが鳴るまでに、教科書・プリント・ファイル・ワーク・筆記用具を準備してください。授業中に取りに行くのはやめましょう。
- ・忘れ物は、1校時開始前までに申し出てください。
- ・遅刻や欠席に関して、学校の基準以内であれば直接の減点はしません。
- ・プリント提出・課題提出は期限を厳守してください。減点対象とします。
- ・プリントを穴埋めするだけでなく、疑問や考えを記入したり、不明な点は自分で調べてメモをしたり、自主的に学習しましょう。
- ・クラスメイトの学ぶ権利を奪う行為や向上心のない言動は慎んでください。

